

環境リサイクル肉牛協議会第 22 回総会
特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 13 回通常総会
議事録

開催日時：6月5日(土) 13:30~15:00

開催場所：zoom 会議/事務局北の牧場舎から

出席者：左久理事長、花房俊一事務局長

総会の成立：出席 2 名、ZOOM 参加 10 名、欠席一任 17 名で正会員数 29 名 100%ととなり定足に達し総会を開会する。

1. 挨拶 理事長 左 久

コロナ禍で難しい世の中ですが、この時代こそ私たちの取り組みは評価されます。昨年はこのような中でもシンポジウムを行い、多数のご出席をたまわりました。今年もコロナの終息も見れず、多難なスタートですが、しっかりやってゆきましょう

2. 議長選出：定款から理事長の左久氏選出

議事録作成：森下仰（帯広畜産大学院生インターン）指名

議事録署名人選出：帯広畜産大学 口田先生、道総研畜産試験場 肉牛グループ藤川主幹

3. 議事

1) 第1号議案 2020 年度事業報告及び収支決算に関する件

2) 第2号議案 2021 年度事業計画及び収支予算に関する件

3) 第3号議案 そのほか

①役員改選

②そのほか

第 1 号議案

I. 2020 年度事業報告

1. 2020 年度会員募集 (2021 年 3 月末)

個人会員 15 名 (-3)

団体会員 13 団体(±0) 合計 28

内訳) 生産者・生産者団体 8

 食肉流通業者 2

 消費者団体 1

 学研・指導機関 12

 飼料業者 5

2. 総会・理事会等の開催

1) 2020 年度第 21 回総会(NPO 法人第 12 回通常総会 書面による)

議案書成立の要件 会員総数 28 会員 了承返信 26 通 93%で了承

・2019 年度事業報告・決算報告

・2020 年度事業計画・予算

・役員改選 2019～2020 年度 2 年任期つき改選 理事長 左久 理事 9 名継承

2) 理事会

第1回 2020年6月 第21回総会議案書事前通知

第2回 2020年10月29日(木) シンポジウム打合せ

第3回 新得町 北海道畜産試験場研修施設 開催できず

3) カルビー ポテトピール検討会；開催できず

3. 学術情報の収集と肉牛飼養技術研修会の開催 定款条1-②

1) 学術情報の収集

関連加入団体 8ヶ所 年会費 35,000円

肉用牛研究会 (事務局/京都大学 年会費/3,000 個人窓口/左)

日本畜産学会 (東京 公益社団法人 4,000 左)

日本産肉研究会 (北里大学 FSC 八雲牧場 5,000 団体)

畜産システム研究会(京都大学畜産資源学 3,000 花房)

北海道畜産技術連盟(北海道酪農畜産協会 4,000 左)

北海道肉牛研究会 (道総研 畜産試験場 3,000 花房)

北海道アンガス牛振興協議会(内藤会長 3,000 花房)

北海道オーガニックビーフ振興協議会(帯広市 10,000 花房)

2) 肉牛飼養技術研修会の開催

第1回 6月コロナ禍で開催できず

第2回 2月初旬 新得町 道総研 畜産試験場 予定したが開催できず

4. 第17回資源循環型肉牛生産シンポジウム2020 日本産肉研究会第26回学術集会定款5

定款条1-④

テーマ「新型コロナウイルス感染症パンデミックの経験乗り越えて次の畜産を考える～これからの新しい社会システムにおける畜産の生産、販売及び消費を見直す～」

日 時：2020年10月29日 13:00-17:00 とかちプラザ（帯広市）視聴覚室

共 催：環境リサイクル肉牛協議会、日本産肉研究会、北海道アンガス牛振興協議会

北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

内 容：

1. 基調講演 「畜産における人畜共通感染症」

講演者：北里大学獣医学部獣医衛生学研究室 教授 八雲牧場長 高井伸二氏

2. 話題提供 1. 「生産者視点での新型コロナウイルスの影響と対策」(仮)

北十勝ファーム 社長 上田金穂氏

話題提供 2. 「流通業者視点での新型コロナウイルスの影響と対策」(仮)

マルハニチロ株式会社 課長代理 岩崎方保氏

話題提供 3. 「消費者視点での新型コロナウイルスの影響と対策」(仮)

(株)グロッシー 代表 北村 貴氏

話題提供 4. 「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

司会 帯広畜産大学 教授 口田圭吾氏と受賞生産者

3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表

例年行っている 意見交換会 eびーふ 試食会 現地検討会

参加者数： シンポジウム 75名（事前申し込み）

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 月刊情報誌「eびーふ NEWS 北の牧場から」 毎月発行 12回発行配信
- 2) ホームページ：インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。
ホームページ <http://www.e-beef.jp/> 事務局アドレス kanrikyo@e-beef.jp

6. 「eびーふ」認証事業 定款5条1-①

- 1) 北の牧場舎木野 eびーふ牧場から eびーふ認証
- 2) 「eびーふ」の商標登録10年間権利保持(2023年まで)

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 北海道肉専用種枝肉共励会 10/28→29 北海道畜産公社
20頭出展 アンガス牛11頭 日本短角種7頭 交雑種2頭
 - 2) 飼料事業の検討：eびーふ事業化推進
草薙農園/カルビーポテトポイルcと規格外小麦
 - 3) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
北海道アンガス牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会との連動
- 3ページ11行目 10/28日は誤りであり、10/29日に訂正。
7. 肥育モデル作成事業の3)については行われなかった。

以上の第1号議案7までに対し賛否を問い、異論がなく了承された。

8. 2020年度収支決算報告

収入の部

項 目		予 算	決 算	備 考
1)会費・入会	個人	90,000	90,000	今年度分 15人 6,000
	団体	130,000	130,000	今年度分 13団体 10,000
	入会金			
2)寄付金	シンポジウム協力金	190,000	190,000	日本産肉研究会、北ア協、北短協、HOBA
	事業助成金		0	
3)助成金				

4) 事業収入	普及活動事業参加費	300,000	60,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
		80,000	48,000	e-びーふ格付@4,000
5) その他収入		90,000	45,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	2	1	北洋銀行
6) 前期繰越		163,627	163,627	
合 計		1,043,629	726,628	563,000

支出の部

科 目		予 算	決 算	備 考
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	50,000	0	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	100,000	73,000	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	100,000	0	e-びーふ、アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	400,000	276,049	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	130,000	102,000	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	30,000	0	理事旅費・事務局交通費
	通信費	10,000	4,708	NTT 電話代、郵送料
	会議費	30,000	0	総会経費
	備品・消耗品費		0	
	賃借料	60,000	0	北の牧場舎
	手数料	60,000	34,792	会計処理料, 会計ソフト freee
	予備費	73,329	8,470	
合 計		1,043,329	499,019	63,980
繰越金		163,627	227,609	
預金	北洋銀	258,221	406,437	
現金		14,170	4,672	
前払い費用		0	10,500	
(小計)		272,391	421,609	
未収入金		0	6,000	
売掛金		0	0	
合計		272,391	427,609	
未払金				
預り金		0	200,000	左先生預り金
繰越金		163,627	227,609	
合計		163,627	427,609	

監査報告

2020 年度収支決算について監査の結果、各項目毎に正確・適正に処理されて

2021 年 5 月 25

いる事を認めます。

日

監事 内藤 順介

監事 奈良岡 武任

以上の第 1 号議案 8. 2020 年度収支決算報告に対し賛否を問い、異論がなく了承された。

第 2 号議案

Ⅱ. 2021 年度事業計画

1. 会員募集

目標会員数 35 名以上を目指す。

2. 総会・理事会の開催

- 1) 2021 第 22 回総会(NPO 法人第 13 回通常総会)
- 2) 理事会、事務局会議は必要に応じ開催する。

3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 定款 5 条 1-②

- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査および参加。
- 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産に関する飼養技術研修会の開催。
- 3) JAS 有機の格付委託業務（北里 FSC 八雲牧場からの受託、有機牛の肉質調査）

3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 3) については中止となった。

4. 第 18 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2021 の企画・開催

定款 5 条 1-④

シホツリテマ「わが国の資源循環型牛肉生産における課題と展望」（仮）

日 時：2021 年 10 月 28 日(木) 13:00-17:00

会 場：とかちプラザ（帯広市）2 階 視聴覚室

内 容：（13:00-17:00）

1. 基調講演 「農業の将来と展望」大学院教授
2. 話題提供 1. 「資源循環型牛肉生産の現状と課題」
話題提供 2. 「実践例」氏
話題提供 3. 「活用事例」
話題提供 4. 「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

司会 帯広畜産大学 教授 口田圭吾氏と受賞生産者

3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表
4. 意見交換会 eびーふ 試食会（18:00～）ホテルグランテラス帯広
食味試験（17:30～18:00） 帯広畜産大学 口田研究室主催
5. 現地検討会：10月29日(金)

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 「eびーふ NEWS 北の牧場から」の月刊情報誌の編集・発信。年12回
- 2) ホームページ・インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

6. 「eびーふ」認証事業の活性化 定款5条1-①

- 1) 新たなeびーふ認証農家の発掘
- 2) 認証適格農場の実態調査
- 3) 「eびーふ」の商標の活用

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：eびーふ事業化推進
- 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
→北海道アンガス牛振興協議会・北海道オーガニックビーフ振興協議会(HOBA)と連動
各牧場定期調査・分析・検討会の開催

8. 2021年度予算案

収入の部

項 目		前年度決 算	予 算	備 考
1)会費・入会	個人	90,000	90,000	今年度分 15人 6,000
	団体	130,000	130,000	今年度分 13団体 10,000
	入会金	0		
2)寄付金	シンポジウム協力金	190,000	90,000	北ア協、北短協、HOBA
	事業協力金	0		
3)助成金		0		
4)事業収入	普及活動事業参加費	60,000	300,000	eびーふ試食・意見交換会参加費
	賦課金	48,000	80,000	eびーふ格付@4,000
5) その他収入		45,000	0	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	1	1	北洋銀行
6) 前期繰越金		163,627	227,609	
合 計		726,628	917,610	

支出の部

科 目		前年度決 算	予 算	備 考
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	0	50,000	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	73,000	100,000	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	0	100,000	e-びーふ、アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	276,049	300,000	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	102,000	130,000	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	0	30,000	理事旅費・事務局交通費
	通信費	4,708	10,000	NTT 電話代、郵送料
	会議費	0	30,000	総会経費
	備品・消耗品費	0		
	事務経費	0	60,000	北の牧場舎
	手数料	34,792	35,000	会計処理料, 会計ソフト freee
	予備費	8,470	72,610	
合 計		499,019	917,610	
差引		227,609	0	
預り金		200,000	0	
繰越金		227,609	0	
合計		427,609	0	

以上の第 2 号議案までに対し賛否を問い、異論がなく了承された。

第 3 号議案 その他

1. 役員改選

役員改選について、意見を求めたところ特になく事務局提案で、コロナ禍の時代に、引き続き理事長を左久さんとし、他の役員も 2 年間続投することに対し賛否を問い、異論がなく了承された。畜産試験場の理事に関しては佐藤さんが退職し、岩上弦太郎さんが就任した。

2. 協議会の運営体制

- 1) 総務担当 協議会の運営、会計事務/クラウド会計 freee (事務局)
- 2) NPO 法人会計事務 外部委託：竹川会計事務所
- 3) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査 (左理事)
- 4) 飼養技術研修会の運営 (畜試)
- 5) 資源循環型肉牛生産シンポジウムの運営 (畜試・事務局)

- 6) e-びーい news 編集・ホームページ担当 (事務局)
- 7) 「e-びーい」認定委員会 (畜試)
- 8) 補助事業申請・運営 (事務局)
- 9) 飼料事業の推進 (畜試・事務局)
- 10) アンガス飼養実態の調査分析検討会の開催 (畜試・事務局)

事務局体制の充実：

3. 肉牛事業について

- 1) e-びーい経産牛の肥育事業；肉加工・販売まで
きのe-びーい 月間 1~2 頭

以上の第 3 号議案に対して賛否を問い、異論がなく了承された。

最後に ZOOM 参加者全員から一言近況やご意見をいただき、総会は終了した。

以上内容を確認し署名する

議事録署名人